



Cloudflare のセキュリティが選ばれる7つの理由



Cloudflareが選ばれる

7つの理由があります！

理由1 世界のインターネット人口の**95%**から**0.05秒**の距離

理由2 **世界**のインターネットトラフィックの**25%**を担っている

理由3 米フォーチュン500の**30%**の企業が導入

理由4 第3者機関から与えられた**最高評価**

理由5 1日当たりの**サイバー攻撃ブロック数1,260億**

理由6 セキュリティだけでなく**サイトの高速化**も実現できる

理由7 コンテンツ配信量を減らし、**インフラコストを削減**



Cloudflareは共同経営者である、マシュー・プリンス、ミシェル・ザトリン、リー・ホロウィルの3人により設立されました。マシューは7歳からプログラミングを行い、大学卒業後にシカゴの弁護士事務所に勤務していました。ミシェルは東芝でプロダクトマネジャーを務め、グーグルなどに勤務していました。リーは天才エンジニアでした。

2009年4月

Cloudflareは権威ある「Harvard Business School Business Plan」（ハーバード大学経営学大学院ビジネスプラン）コンペで勝利。

2010年9月

TechCrunch Disruptでサービス開始を発表。Cloudflare（クラウドフレア）が起業。

2019年9月13日

Cloudflareはニューヨーク証券取引所に上場

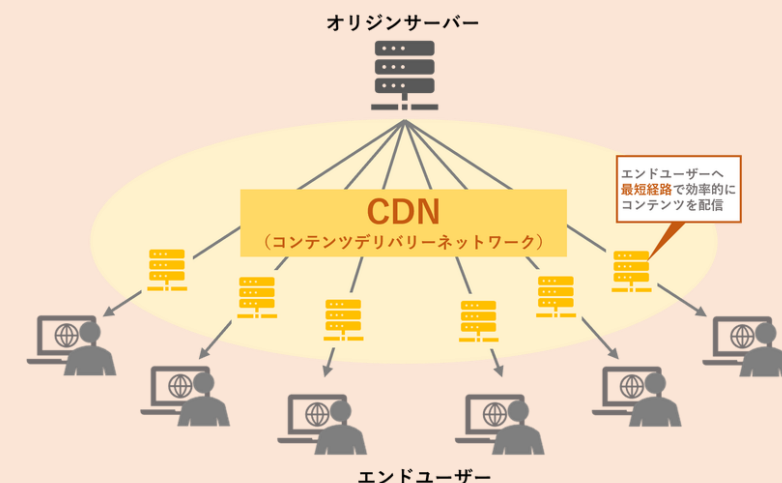


CDNを理解しよう

CDNとは、**コンテンツデリバリーネットワーク**の略で、オリジンサーバーにある大容量のデジタルコンテンツをクラウド上のネットワークサーバーにキャッシュすることにより、ユーザーのもっとも近いサーバーから配信できるネットワークのことです。

CDN利用のメリットは大きく4つあります。

- ①セキュリティ強化 ②サーバーコストを軽減
- ③サーバーダウン回避 ④サイト高速化



全サイトのうち81.2%がCloudflareのCDNを選択

世界のインターネット人口の95%から0.05秒の距離

The Cloudflare global network

Our vast global network, which is one of the fastest on the planet, is trusted by millions of web properties.

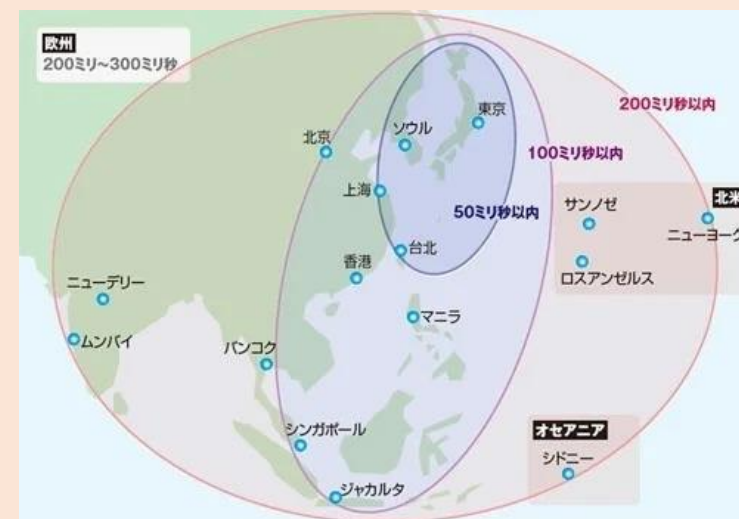
With direct connections to nearly every service provider and cloud provider, the Cloudflare network can reach about 95% of the world's population within approximately 50 ms.



Cloudflareのネットワークは**300都市、100か国以上**（中国本土を含む）に展開しています。結果、Cloudflareが提供する世界最速クラスの広範なグローバルネットワークは、何百万ものWebプロパティで信頼を得ています。ほぼすべてのサービスプロバイダーとクラウドプロバイダーが直接接続するCloudflareネットワークにおいては、**世界のインターネット人口のおよそ95%のユーザーは、0.05ミリ秒圏内にあります。**

0.05秒の距離とは？

海外の拠点から東京のデータセンターにアクセスする場合の伝送遅延を表した下の図をご覧ください。これを見ると、各拠点からの遅延がわかります。と同時に、必ずしも距離と比例しないこともわかります。これは回線が経由しているルートなどの影響によって遅延時間が変わるからです。ちなみに社内LANにアクセスする際の遅延は**0.001ミリ秒以下**だと言われています。この例からわかるのは、Cloudflareネットワークを使えば、世界中から東京にソウルや台湾の距離感で圧倒的な速さでアクセスできるということになります。



0.05秒 = 50ミリ秒

25%



Cloudflareには数百万のインターネットプロパティがあり、そのネットワークは毎日数万単位で拡大しています。また、Cloudflareは、数百万のWebサイトのインターネットリクエストを処理し、**平均で毎秒4600万のHTTPリクエストを提供**しています。それは、**世界のインターネットリクエストの25%**となります。これは、言い換えると、**世界のインターネットリクエストの25%を把握**しているということです。Cloudflareが世界の様々なサイバー攻撃、日々生み出される新たなサイバー攻撃の情報を、いち早く入手し、対応することができるのは、どのセキュリティベンダーよりもサイバー攻撃に関する情報量が多いからなのです。



Cloudflareは、世界のTOP企業500社の、30%が利用しているサービスです。日本企業では、2022年に導入したJAL（日本航空）が事例として公表されています。これら大企業のセキュリティ担当は、高いレベルの知見を持ち、相当な比較検討を行ってセキュリティサービスの導入を決定しているはずなので、その厳しい目を見て、Cloudflareが選ばれていることから、**Cloudflareが間違いのないサービス**であることがわかるでしょう。

トランプ大統領の大統領選を守った！

2016年のトランプ氏の大統領選では、1日50万件、計2億2650万件のサイバー攻撃を防御し被害ゼロで選挙戦を終えることができました。ちなみに、DonaldJTrump.comは、WordPressの脆弱性を標的とした攻撃である、SQLインジェクション、さらにはAnonymousやさまざまなボットネットからの攻撃まで、インターネット上のあらゆる種類の攻撃を受けましたが、**Cloudflareはすべてをブロックしたのです。**



Gartner WAFのリーダー



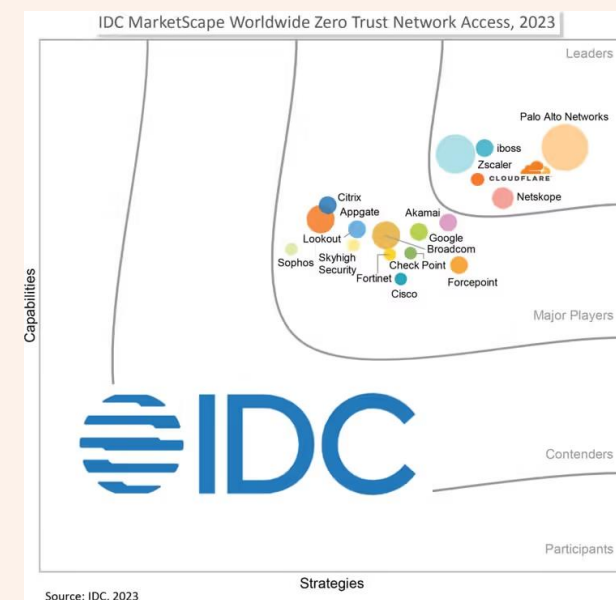
Gartnerは米国コネチカット州スタンフォードに本拠を置く業界最大規模のITアドバイザリ企業。世界90カ国に拠点を持ち、約1,500人のリサーチ・アナリストおよびコンサルタントを含む7,600人のアソシエイツで構成されています。2022年度のGartner® Magic Quadrant™でCloudflareをWAF（Webアプリケーションファイアウォール）とAPI保護（WAAP）において、**最も高い実行能力を持つ1社**として評価しました。

Forrester WAF部門のリーダー

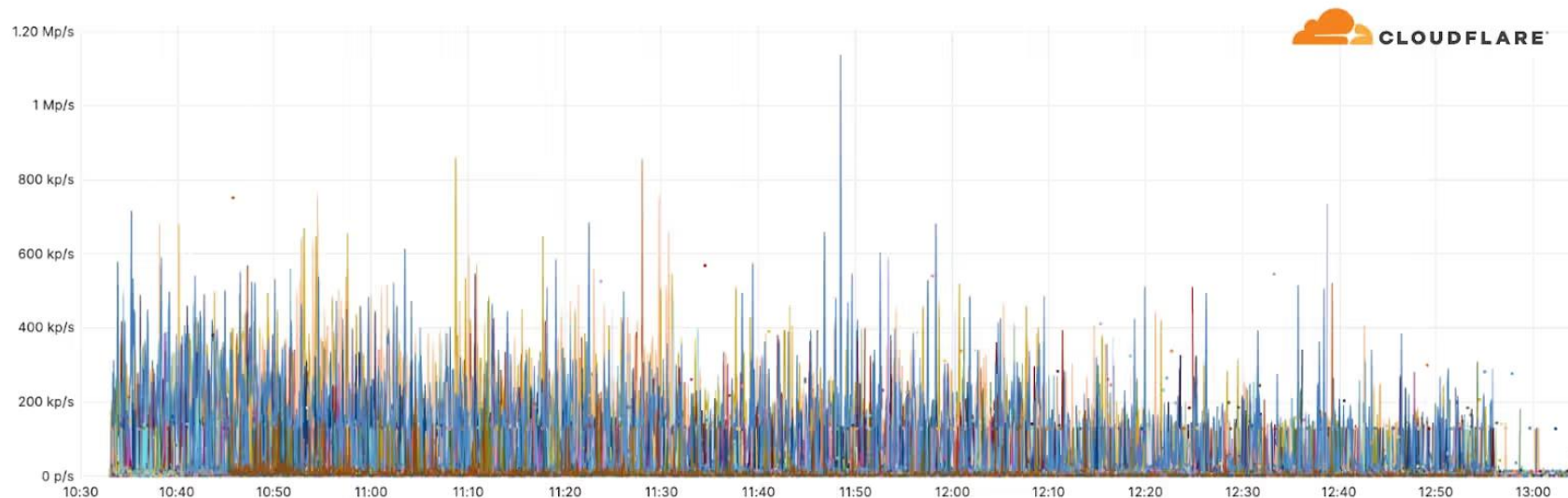


Cloudflare（クラウドフレア）は、Forrester Research, Inc.による「The Forrester Wave™: Web Application Firewalls, Q3 2022」レポートで「**リーダー**」に選出されました。CloudflareのWebアプリケーションファイアウォール（WAF）ソリューションは、イノベーション、パートナーエコシステム、コミュニティなど、**10個の基準で最高スコアを獲得**しました。また、「CloudflareのWebアプリケーションファイアウォールは、設定とルールの作成で**特に優れる**」また、「Cloudflareは活発なオンラインユーザーコミュニティとそこでの応答時間の基準で**群を抜く**」と評価しています。

IDC ゼロトラストのリーダー



IDC MarketScapeは、特定市場におけるICTサプライヤーの競争力の適応度を把握できるベンダー分析モデルです。定量的および定性的な評価基準に基づいた厳密な採点手法を用いています。今、コロナ渦以降、注目を集めている**ゼロトラストの分野でも、Cloudflareはリーダーに選ばれている**のです。



Cloudflareのネットワークは世界100カ国300都市以上にまたがる世界最大級のもので、あらゆる種類と規模のDDoS攻撃と日々対峙しています。このネットワーク上で、ピーク時には毎秒6,300万を超えるHTTPリクエスト、1日当たり2兆を超えるDNSクエリに対応しています。その結果、**1日にブロックしているサイバー攻撃ブロック数1,260億**に上ります。

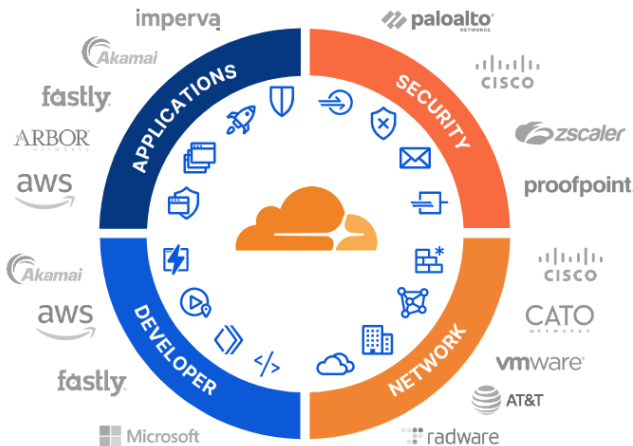
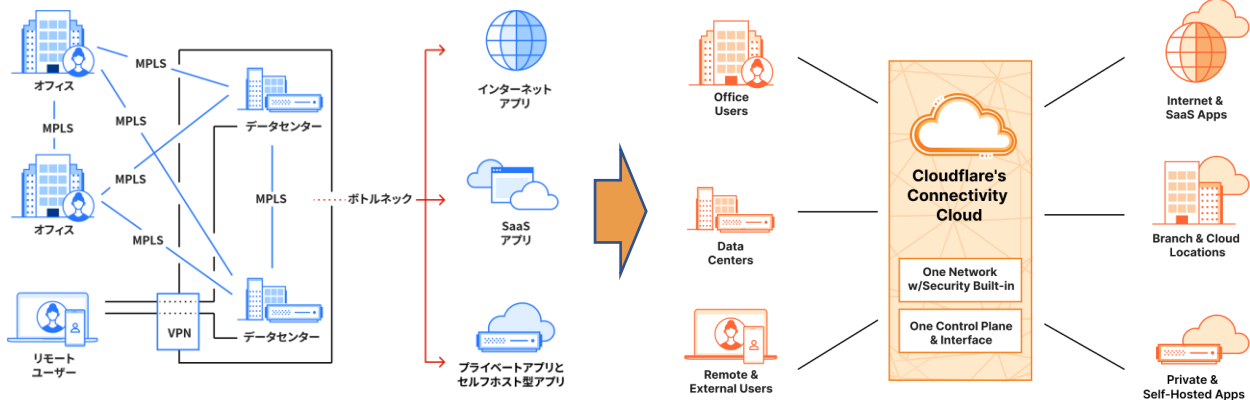
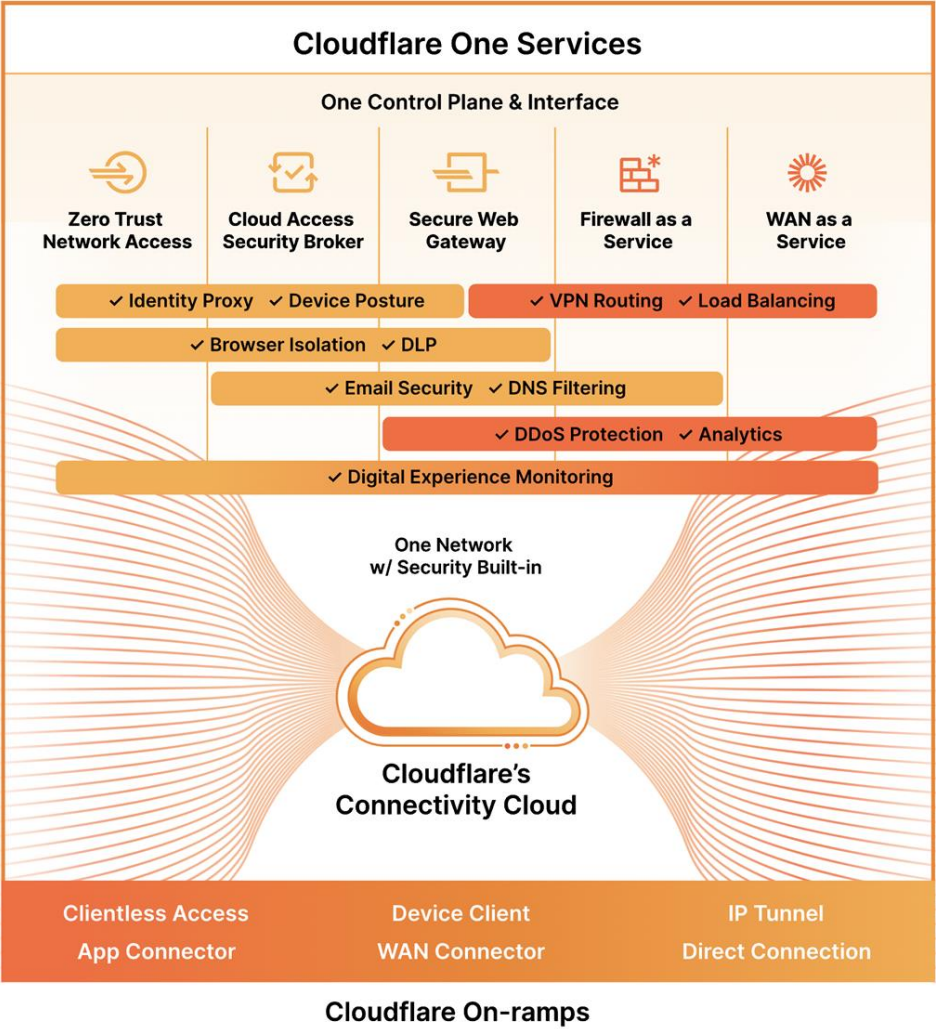
Cloudflareには、無料プランがありますが、その無料プランでも以下のような設定が可能で、サーバー攻撃を防御できます。

- ・ DDoS攻撃対策・セキュリティレベル・悪質なボットをブロック・ファイアウォールルール
- ・ マネージドルールセット

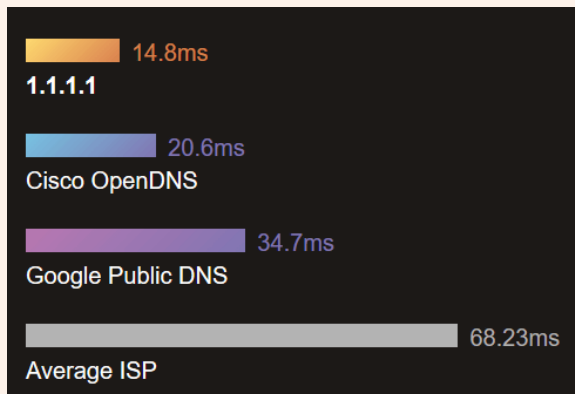
セキュリティに関するすべてがオールインワン(こんな感じ)



Cloudflareが選ばれる
7つの理由



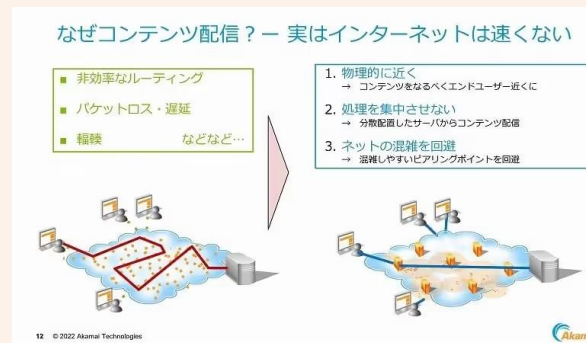
Cloudflareは世界最速のDNS



CloudflareのDNS「1.1.1.1」は、現在、世界最速のDNSであり、サイトアクセスを高速化するように設計されています。通常、1.1.1.1は約0.01～0.02秒で応答しますが、他のDNSでは0.1秒を超える場合があります。

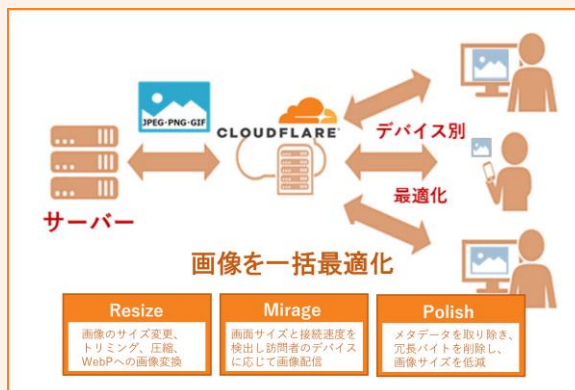
Cloudflareの世界最速の権威DNSは、DNSでのIPアドレス検索速度が平均0.011秒、さらに世界規模でのDNSレコードのプロパゲーション期間は0.005秒未満を実現しています。

CDNで訪問者の一番近くから、最適ルートで配信



CloudflareがCDNであることこそ、サイト高速化にとって大事な要素なので、改めてご説明いたします。Webサイトの表示やコンテンツ配信を高速化するために、CDNが行っていることは大きく3つあります。(1) コンテンツをユーザーの近くに置くこと (2) 分散配置したサーバーからコンテンツを配信することで、処理を集中させないこと (3) 混雑しやすいポイントを回避することです。

画像を一括で最適化し、ブラウザごとに配信



サイト遅延の一番の問題点は、間違いなく重い画像にあります。手を付けやすいようで、サイト上には、多くの画像がさまざまな形式で使われており、一つひとつ最適化するのは、あまりにも手間のかかる作業です。Cloudflareを導入すると、ドメイン内の全ページの画像が一括で最適されます。

サードパーティツールをクラウドで読み込む



Cloudflareは、サードパーティツールをブラウザから離れたクラウド上で読み込み、高速化とセキュリティおよびプライバシー保護の強化を実現します。分析ツール、広告ピクセル、ウィジェット、その他のサードパーティツールを、コードを変更することなく簡単に読み込めます。



コストダウン ↘

ユーザーがWebサイトを訪問すると、ブラウザはインターネット経由でコンテンツを読み込みます。WebサイトがCDNを使用しない場合、すべてのコンテンツをオリジンサーバーから取得する必要があります。つまり、Webサイトが読み込まれるたびにHTTPリクエストがオリジンサーバーに送信され、毎回そのサーバーからコンテンツが送信されます。これが何度も発生すれば、より多くのデータが転送されるため、Webサイト運営者のコストが高くなります。コンテンツ配信ネットワーク（CDN）は、ユーザーとWebサイトのホスティングサーバーまたはオリジンサーバー間に存在して、データ転送のコストを削減して、ホスティングサーバーとインターネットの他の部分との間のトラフィックを削減します。CDNは、世界中に分散しているサーバーのネットワークであり、コンテンツをエンドユーザーの近くに保存し、レイテンシーを削減します。CDNはキャッシュされたコンテンツを提供するため、オリジンサーバーは同じコンテンツを何度も配信する必要がありません。

Cloudflare導入で「インフラコスト減」事例

株式会社NEWSY 様



月間1億ページビューを超える

メディアサイト「Sirabee(しらべえ)」を運営

クラウドフレア導入で

サイト高速化を実現し、広告収入アップ

大幅なサーバーコスト減も

休暇村協会 様



国立・国定公園内のロケーションと自然に

囲まれたリゾートホテル全国35か所に展開

無料トライアルで表示速度改善を実感!

月間70万リクエスト数の不正アクセスをブロック!

インフラトータルコスト約5割削減!